

操作説明書（操作各部分名称）

図 1

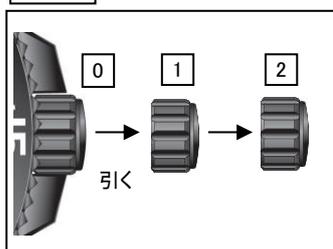


■はじめに

ご使用前に必ずこの「操作説明書」と別途添付の小冊子「取扱説明書・保証書」をお読みになってからご使用ください。

■ 日付・時刻 修正方法

図 2



①「日付カレンダー」の修正

リューズを一段引き出し、「1」の位置にします。この位置でリューズを12時方向(時計方向)に回すと「日付」の修正をすることができます。終了の際は必ず「0」の位置に戻してください。

※PM9時～AM3時の間は日付修正を行わないでください。万が一必要な場合は、下記②を参考に上記時間外にしてから日付の修正を行ってください。

②「時刻」の修正

リューズを更に引き出し、「2」の位置にします。この位置でリューズを操作すると「時刻(時・分)」の修正が出来ます。終了の際はリューズを必ず「0」の位置に戻してください。

※特に午前・午後の時間のセットは正確に行ってください。(下記参照)

(時間と日付の合わせ方のポイント)

※時刻合わせ及び日付カレンダーの修正は、まず日付を前日に合わせてから**ゆっくり**と時分針を現在の日時まで進めて頂く事で確実に時間(午前・午後及び日付)を合わせる事ができます。

■ ストップウォッチの針位置修正

時刻をセットする前にストップウォッチの秒針と分針が「0」(12時)の位置にある事を確認してください。

ストップウォッチの使用中は、下記順番でボタンを押して、リセットしてから針が「0」の位置に戻っていることを確認してください。

- ・ストップウォッチが動作中の場合→Aボタンを押す→Bボタンを押す
- ・ストップウォッチが停止している場合→Bボタンを押す
- ・スプリットタイムが表示されている場合→Bボタンを押す→Aボタンを押す→Bボタンを押す

※ストップウォッチの針のいずれかが「0」位置にない場合、以下をご参考ください。

- ①リューズを「図2」の「2」の位置にします。
- ②AボタンもしくはBボタンを押して、ストップウォッチの秒進と分針「0」の位置にリセットします。
※Aボタンを押すと、針は反時計回りに動きます。Bボタンを押すと、時計回りに針が動きます。
- ③リューズを元の位置に戻します。

■ ご注意いただきたいこと

※大切な時計を長くご愛用いただくために、以下の事項をお守りください。

- ☆カレンダー(日付)の早送りは、PM9時～AM3時の間は避けてください。機械に負担がかかり、故障の原因となります。
- ☆精密機器につき、針位置等表示ズレが生じる場合があります。
- ☆リューズ操作は優しく行うようにしてください。無理に回したり引っ張ったりすると、リューズを壊してしまい、防水不良の原因となる場合があります。
※ご使用後のリューズはしっかり確実に締めて頂く必要があります。
- ☆水中でのリューズ、ボタン操作は厳禁です。くもりや水入りの原因となり、重大な故障の原因となります。